



がんを共に
のりこえよう

第9回

がんサバイバー・スピーキング・セミナー

参加者募集!

あなたの声が社会を動かす

がんサバイバー（=がん患者、経験者とその家族、遺族、ケアをする人など）が自身の経験から感じた社会的課題を公の場で発信し、人の心・社会を動かす活動を行うために必要な技術・知識を、講義だけでなく実践を通して学び、全国各地のさまざまながん対策の分野において活躍することを目的としています。

2023年 — オンライン視聴期間 — 2023年

インプット
セッション

5月22日^(月) ~ 6月9日^(金)

ワーク
ショップ

2023年

6月10日^(土)

Face to Face
東京ウィメンズプラザ

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 5-53-67

参加費無料

(交通費一部助成有り)

オンライン変更の場合の交通費のキャンセル料は助成の対象になりません。ご注意ください。

最大
30名

募集
締切

2023年

5月19日^(金)

お申し込みは、2023年5月19日(金)までにご応募ください。定員の30名を超える応募があった場合は選考の上2023年5月22日(月)に皆様に選考結果をお知らせ致します。詳細は www.octjapan.jp をご覧ください。



Over Cancer Together.

<https://www.octjapan.jp/>

申し込み QR コード

がんサバイバー・スピーキング・セミナー



インプットセッション：5月22日(月)～6月9日(金)

| 分 | コンテンツ | 敬称略 |
|----|---------------------------------|----------------------------|
| 10 | OCTについて | 國村 三樹 |
| 20 | 医療者から キャンサーサバイバーに期待すること | 山内 英子 |
| 20 | 国の政策を知り、がんサバイバーが出来るロビー活動 | 天野 慎介 (一般社団法人グループネクサスジャパン) |
| 30 | がん患者が発信するうえで気をつけなければならない“がん”のこと | 勝俣 範之 (日本医科大学) |
| 20 | メディアを有効に活用するために | 橋本 佐与子 (MBS 毎日放送) |
| 20 | 体験を伝えるコツと大切なこと | 久田 邦博 (プレゼンテーションスキルコーチ) |

ワークショップ：6月10日(土)

会場：東京ウィメンズプラザ 視聴覚室

時間は変更になる場合があります。

| 時間 | 分 | コンテンツ |
|-------------|-----|------------------------|
| 10:00-10:10 | 10 | 挨拶 |
| 10:10-10:30 | 20 | アイスブレイキング |
| 10:30-10:40 | 10 | OCT 卒業生からのメッセージ (2名) |
| 10:40-11:50 | 70 | ワークショップ 事前の宿題をグループ内で共有 |
| 11:50-13:00 | 70 | 昼休憩 |
| 13:00-14:00 | 60 | ワークショップ |
| 14:00-16:00 | 120 | 発表(全員) 修了証授与 |
| 16:00-16:10 | 10 | 休憩 |
| 16:10-16:30 | 20 | 総評(ゲスト、オブザーバーより) |

参加者の声!

OCTの参加で人生が変わりました！
自分の経験を初めて言葉にすることは大変でしたが、その分、やりがいもあって。
それが今に生きています。
おかげで全国各地で話す度胸もつきました！

OCT 1期生 / がんノート 代表理事 岸田 徹

「伝えたい事」を「伝える内容」に昇華させるワークを受講できてよかったです。同じ境遇で前を向く仲間との出会いから自分の使命が明確になり今の団体活動につながりました。一生物の友人と出会えたことも感謝。

OCT 6期生 / 一般社団法人がんと働く応援団 代表理事 吉田 ゆり

私が参加したのは、食道がんの術後7年経った2019年で56歳の時です。様々な世代の方たちの想いを知り、刺激を受け、多くの気づきと年齢に関係なく前に進む勇気に繋がりました。
さあ一歩踏み出しましょう！

OCT 6期生 / 一般社団法人食道がんサバイバーズシェアリングス 代表理事 高木 健二郎

がんサバイバーが住んでいる地域によってがんサバイバーの抱えている問題、課題が異なる可能性を考慮し、また応募されるがんサバイバーの地域が偏らないよう、遠方から参加を希望される方には交通費を一部助成いたします。

*表1：旅費交通費助成額一覧 領収証の提出が必須です。領収証の金額をお支払いいたします。

| 助成上限額 | 地域 | 助成上限額 | 地域 |
|---------|---------------------|---------|-----------------------------------|
| ¥40,000 | 北海道(北海道全域) | ¥20,000 | 北陸(富山、石川、福井) |
| ¥35,000 | 東北(青森、岩手、秋田、宮城、山形) | ¥20,000 | 東海(静岡、愛知、岐阜、三重) |
| 補助なし | 関東(東京、埼玉、千葉、神奈川、茨城) | ¥30,000 | 近畿(滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山) |
| ¥5,000 | 関東、東北一部(栃木、群馬、福島) | ¥35,000 | 中国、四国(岡山、広島、山口、島根、鳥取、愛媛、高知、香川、徳島) |
| ¥10,000 | 甲信越(新潟、山梨、長野) | ¥45,000 | 九州(福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島) 沖縄 |

応募条件

1. 特定の治療法、代替療法、健康食品等を推奨する団体の運営者または個人でないこと
 2. 特定の政治団体、宗教団体を支持する団体の運営者または個人ではないこと
 3. セミナーへの参加後に、日本のがん医療やがん患者さん・ご家族の支援の質を向上させるための活動をなんらかの形で行っていきたいと思っている方
 4. インプットセッションを6/9までに全て視聴し、6/10のワークショップにフルで参加出来る方
- *なおセミナーの様子はウェブサイトや報告書等で写真を公開いたしますので、ご了承の上、お申し込みください。

応募方法

あなたのご自身の体験から感じた「がんサバイバーシップ」に関する課題、そして、その課題はどうすれば解決できると思うか、を400字程度のエッセイにしてお送りください。ご応募・詳細は、以下のウェブサイトで確認できます。

<https://www.octjapan.jp/>

オンライン：インプットセッション(5/22～6/9 視聴期間) 6/9までに必ず全て視聴すること